

# 有限会社望月工業

## 企業概要

設立	1984年	資本金	500万円
所在地	新宿区上落合	業種	建設業（左官業）
代表	代表取締役 望月 健史 氏		
従業員数	11人（うち女性2人）		
事業内容	左官工事業、塗装工事業、防水工事業		



### <ポイント>

#### ○会社の取組

- ・左官で女性が活躍
- ・左官6社でつくった研修所での研修を通して、左官の基礎を学ぶ研修プログラムを準備
- ・下地から表面に色を付けるまでを対応する特殊左官が強みであり、女性の色や形への感性を活かすことが可能
- ・男女問わず、楽しく仕事ができることと、やりがいを重視
- ・制度よりも社員の状況に応じた個別対応

#### ○女性従業員からのメッセージ

- ・当社は特殊左官も行う特色ある企業風土であり、ものづくりは魅力的

## 企業の取組

代表取締役 望月 健史 氏



### 技能系女性従業員の採用および退職状況

ここ数年で女性は4名入社し、2名が退職しています。退職については、結婚や出産で夫に危ないから辞めてほしいと言われて辞めることが多いです。今いる女性社員2名のうち1名は現場で活躍しており、1名は育休中です。通常人材募集はしておらず、当社の仕事をやりたい人のみ採用しています。職業能力開発センターからの紹介や、父親が左官業で修業のために当社を希望する人もいます。また、私は同センターからの依頼で講演を行うことも多く、そこで関心を持ち、直接応募を受ける場合もあります。

採用に当たっては、男女問わずやる気と仕事への興味の度合いを見ており、特に年齢や性別にはこだわっていません。

また、女性従業員の採用促進のために特別な工夫はしておらず、今いる社員と話し合いながら環境を作っています。

### 技能系女性従業員の活躍推進、育成

当社は一般左官ではなく、特殊左官という他社にはない仕事をしており、女性が左官として活躍しています。一般左官はタイルやペンキ、クロス下地等をつくります。当社も、下地はも

ろんつくりしますが、下地の上にも塗ること、即ち表面の色まで付ける仕事を中心です。私は、下地だけつくる一般左官よりも特殊左官で、より女性の感性が活かせると考えています。女性には仕上げの色彩や形の感覚が男性とは違うという強みがあります。また、キッチン、トイレ周り、玄関等は主に女性が使う場所であり、男性とは見る視点が違うため、その能力が活かされます。一方で、向いていないのは、重いものを持つ業務や危険が伴う業務です。左官の業務では、例えばミキサーで材料を練る作業やセメントを運ぶ時には女性は重くて大変なため、必要な時は遠慮なく男性に頼めば良いと思っています。

### ・女性従業員の教育

左官仲間6社で東京左官教育技能育成センターという研修所を板橋につくりました。研修所では学科、動画を使ったモデリング研修、安全といった左官に関する知識をひと通り勉強するカリキュラムとなっています。ここで新人教育を1カ月間実施し、その後現場に行かせるようにしています。講師は、6社の社長が一週間ずつ順番に担当し、誰であっても同じレベルのものを教えられるようにしています。実践的な内容も多いため、研修開始後20日程で、壁が塗れる職人になっています。この教育プログラムは男女問わず実施しています。

経験を積んでからの教育は、サンプルづくりの際に、出来の良し悪しを本人に伝える等の指導のみで、特に実施していません。あとは現場でそれぞれ経験を積み、育っていきます。何か不都合があった時の対応策は、ミーティング等で伝えています。

## ・女性従業員の昇進、キャリアプラン

女性が出産しても働き続けられる環境をつくりたいと考えています。そのため、女性が出産しても戻りたいと思える仕事でなければいけません。現実には女性のトイレや更衣室、勤務時間など環境的な問題が多々あります。私は、女性が技術を持ち、仕事が楽しくできて、そこに働く環境と報酬が伴うことが必要だと思っています。そのため、給料ではなく技術に合った報酬としてもらうようにするべきであり、技術料は高くなければならないと考えています。当社では、男女問わず一人一人が全てをこなせて、管理できる多能工な職人になることが目標です。1社に頼めば全てに対応できる会社にしていきたいです。

## ・女性従業員の活用で苦労している点、問題点

着替え場所やトイレの問題があります。現状はコンビニを見つけて着替える等、現場に応じて工夫をしています。現場によって女性用トイレや着替えるスペース、冷暖房の有無はかなり違います。大手ゼネコンはそういった環境を整えてきていますが、中小ではまだほとんどゼロに等しいです。これは、元請け側の努力が足りないことにも問題があると思います。重いものは女性に代わって男性が持つことができますが、男性の協力で解決できないトイレや更衣室等の環境面については、キットの貸し出しなどの無料化といった行政からの支援を望んでいます。

また、男性職場では女性を見下しているところがまだあります。出産後辞めてしまうため中途半端だと思える職人もいます。繊細な細かい部分をうまく塗る等、女性の能力が活かせるところも多分にあるにも関わらず、そのような考え方で女性を見るのはとても残念なことです。

## 技能系女性従業員の定着に関する取組

当社では楽しく仕事ができているか、やりが

いがあるか、自分がやった成果が見えるかといった点を重視しています。

仕事と家庭の両立については、産休・育休はしっかり取得し、復帰のタイミングも無理のない日程で考えてもらいたいと考えています。フルタイムは無理でも、月に1~2日は左官をやりたいという希望があるなら、当社はそれでも良いと思っています。是非育休後も戻ってきてほしいです。

また、社員でないと支援しないということではなく、独立した職人を支援することが大事だと思います。職人の世界を理解してもらいたいと思います。女性が技術を取得し、時間や働き場所を自分で裁量し、融通を利かせることができる一人親方として独立した際、その親方を下請けや協力先として使うに当たってどうするかが課題です。

両立支援への配慮として、現場勤務が2日続いた場合は翌日内勤にする等、適宜決めており、制度化するよりも個別の状況に応じた対応をしています。また、女性の相談窓口は特に設けていませんが、何かあれば私が相談を受けています。

## 自社の優れた取組

### ・自社の取組、魅力や工夫

先にあげたとおり、当社では他社にはない仕事をしています。それは、特殊左官であり多能工です。例えば、テーマパークの壁など表面に出るものです。そこでは、色や形など女性の感性や視点が活かされます。

### ・他社に誇れる取組

女性の活躍推進に関することではありませんが、ごみを出さずに環境に配慮している点です。リニューアルの会社を設立し、既存を活かして、リメイクする等延命を中心に行っています。人口が減る中で新築が減っていくと予測されており、既存の下地を活かして、仕上げる

いう特許を取得しました。当社独自の、薄く塗る技術でどれだけ延命できるかということに強みがあると思っています。

### **今後業界で女性がもっと採用され、活躍していくために必要なこと**

マスコミを利用していきたいと考えています。まず左官という仕事を知ってもらい、認知度を上げることです。そのためには、取材に来て紹介してもらおうとともに、アピールしてもらい必要があります。また、技術料についても理解してもらおうことが重要です。

### **業界への就職を検討している女性へのメッセージ**

左官は楽しい仕事ですが、認知度が低いため、女性がやっていけるのかと不安に思う部分もあるかもしれません。ただ、重要なのは「やる気と興味」です。ものづくりは楽しいと思ってもらえれば良いと考えています。

## 従業員の声

入社4年 Aさん

担当している業務：左官（現在育休中）

### 入社したきっかけ

以前はインターネット業界で営業をしており、早朝から深夜までの勤務でした。そのため、体力的にも精神的にもきつくなり、退職しました。その時に自分の中で転機があったような気がします。左官の世界に入ったのは、東京都の職業能力開発センターに通ったことがきっかけです。元々ものづくりが好きだったので、センターにはタイル、クロスなどひと通り勉強できる住宅内外装仕上科があり、また造園業にも興味があったため通学を決意しました。訓練では左官が一番苦手でしたが、授業が面白く、また初めて知った仕事であるとともに未知の世界であり、いろいろなことができることに感心し、興味を持ちました。この会社はセンターから紹介されましたが、社長が他社とは違うことをやっているところに可能性を感じ、入社しました。

左官業を周りの人に勧めたことはありますが、反応はよくありませんでした。テーマパークと左官の繋がりは一般の人には知られていないようで、テーマパークの壁を左官が塗っている話をするとう興味を持ってはもらえます。

### 現在の仕事内容

入社以来左官業をしていましたが、現在は育休中です。左官をやって良かったのは、早朝の仕事ですので、規則正しい生活ができるようになったことです。前職は長時間労働のため、体調不良になり、身体を動かして働きたいと思うようになりました。左官の仕事は楽しく、やりがいがあります。元々ものづくりが好きなことにも起因しますが、自分の塗ったものができるとう嬉しいです。

一方で、苦労したことは、男性職場であり、トイレを探すのが大変なことです。その点は男

性も気にしてくれます。女性はあまり重いものを持ってはいけないのですが、私はできる限り体力をつけて全てを自分でやりたいと思っていました。そのため、妊娠中は身体のことを心配で仕事を休んでいました。



### 働く環境

社長が新しいことをどんどん試していることから、特色ある企業風土という印象であり、とても居心地の良い会社です。また今後については、まずは子どもを預けられることが前提ですが、埼玉に住んでいるため、埼玉支社や埼玉の仕事があると嬉しいです。

### 教育・研修と今後取り組みたいこと

入社前はセンターに通い、入社後は現場を通して仕事を覚えていきました。どんな教育よりも、やはり現場での作業が一番身になると思います。

今後については、子どもがいますので以前と同じ条件で働くことは難しいですが、可能であれば左官の仕事を続けたいと思っています。これまでいろいろ経験させてもらったことから、少しでも職人さんに近づければと思っています。但し、保育園に預けられた場合も自宅が都内から離れており、通勤時間を加味するとフルタイムでの勤務は厳しいと思います。しかし、私は家にいるよりも外に出たいタイプのため、今後も左官ができるなら続けたいですし、将来的には夫の店（蕎麦屋）を塗れたらいいなと思

っています。

### **女性の強み・弱み**

強みについては思い当たりませんが、力が無いのが弱みだと思います。25キロのセメントを持つのは正直つらいです。

### **これまでの成功・失敗体験**

成功体験というほどのものはないですが、コンクリート打ち放しの左官工事を行った時には“左官をやった”という実感があります。また、左官としては特殊左官のほうをもっとやりたいです。

一方、失敗体験はたくさんあります。先輩がやったところは綺麗な仕上がりなのに、自分の塗ったところはそうではない事があり、悔しい思いをしました。納得するまでやると時間がかかるため、時間との兼ね合いを見て作業を進めていく必要があります。

### **女性従業員が働く上での課題や苦勞**

女性は、時間への意識が男性とは違うと思います。私は30代で子どもを出産したいと思っていました。そのため、子どもを産むまでに技術を職人レベルまで持っていきたかったのですが、まだ持っていけていません。育休復帰後は覚える感覚も変わってくるかもしれません。男性に比べると女性は時間が気になります。職人はキャリアが重要ですが、私は転職したことからキャリアが浅く、育休で仕事を休んでいる間は技術を積めないのがもどかしいところです。

### **今後の女性活躍**

#### **・今後この会社で女性が活躍していくために必要なこと**

左官についてもっとPRし、仕事について知ってもらえると女性も入りやすくなると思います。

### **会社・業界の良いところ・魅力**

当社は面白いことができます。また、ものづくりは魅力的だと思います。

